

1 目的

- (1) 職業資格の取得を通じて、専門分野の基礎的・基本的な技術・技能を習熟させる。
- (2) 学習意欲を高め、目的意識をもって充実した学校生活を送らせる。
- (3) 将来にわたって豊かな職業生活を営むことのできる資質を身に付けさせる。

2 技術顕彰制度

在学中に国や公的機関等が実施する337種目（令和7年度）の職業資格試験や検定試験等のうちから、難易度に合わせて3つに区分し（ポイント制）、ポイントの合計が3ポイント以上となった生徒を対象に顕彰しています。

基 準	取得ポイント数
長期間の学習を重ねることで合格できる高度な資格等を1種目取得した場合（測量士、基本情報技術者試験、簿記検定1級等）	3ポイント
比較的高度な資格等を取得した場合	2ポイント
努力すれば比較的容易に合格できる資格等を取得した場合	1ポイント

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
顕彰対象者（人）	7,724	6,992	7,375	6,140	5,823	5,079

○グランプリの授与（平成21年度開始）

愛知県高等学校職業教育技術顕彰制度により表彰された生徒のうち、特に人物的にも優れ、他の模範となる生徒を県教育委員会が表彰します。

令和7年度受賞者

農業部会	県立鶴城丘高等学校	小川 唯登
工業部会	県立名古屋工科高等学校	高橋 滯生
	名古屋市立工業高等学校	一宮 圭吾
商業部会	県立愛知商業高等学校	榊原 士
		後藤 有雄
水産部会	県立三谷水産高等学校	横田 晴之
家庭部会	県立一色高等学校	松村 奈弦
特別支援部会	県立名古屋聾学校高等部本科	神谷 莉乃愛
	県立名古屋聾学校高等部専攻科	平岩 大希



グランプリ授与式

3 技術検定制度

高校生の学力水準に見合う検定基準を県独自で定め、この基準に沿って実施する検定試験に合格した者に対して知事が技術検定合格証書を授与しています。

学科名等	検定試験の名称
工業に関する学科	電気回路認定試験、旋盤技能検定、その他9種目
水産に関する学科	水産食品化学分析検定、その他6種目
特別支援学校	コンピュータ技術検定、ワープロ技術検定



証書授与式

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
検定合格者（人）	3,417	3,847	3,475	2,623	2,382	1,955

4 学科紹介

<p>農業に関する学科</p>  <p>農業科では、日頃の学習で培った知識や技術・技能の定着を図るため、積極的に資格取得にチャレンジしています。</p>	<p>工業に関する学科</p>  <p>工業科では、ものづくりを中心とする地域産業の発展に貢献できる人材を育成するとともに、資格取得に取り組んでいます。</p>
<p>商業に関する学科</p>  <p>商業科では、資格取得への挑戦など目標をもった意欲的な学習を通して知識と技術の定着を図っています。</p>	<p>水産に関する学科</p>  <p>水産科では、「海・水産物・船」を素材とした学習活動を通して、地域社会に貢献する人材を育成するとともに海技士などの資格取得に取り組んでいます。</p>
<p>家庭に関する学科</p>  <p>家庭科では、日頃の学習で身に付けた知識と技術に応用し、おもてなし料理や和服・洋服の製作、保育技術が出題される家庭科技術検定に挑戦しています。</p>	<p>特別支援学校</p>  <p>特別支援学校では、日頃の学習の成果を発揮する場として、愛知県障害者技能競技大会に出場しています。</p>